復興庁
Reconstruction Agency
新たなステージ　復興・創生へ

ジモトで働こう！

ジモトで働こう！

ふるかわ朔

就職先を考える時に
地元に残るか、離れるかで
悩んでいる人も多いと思う。
確かに都会で刺激的な生活を
送るのもいいかもしれない。

でも、ちょっと待って。

住み慣れた地元で働くからこそ
得られる喜びがきっとある。
あなたがまだ知らない
魅力的な企業がたくさんあるはず。
もう一度「ジモト就職」について
考えてみよう。

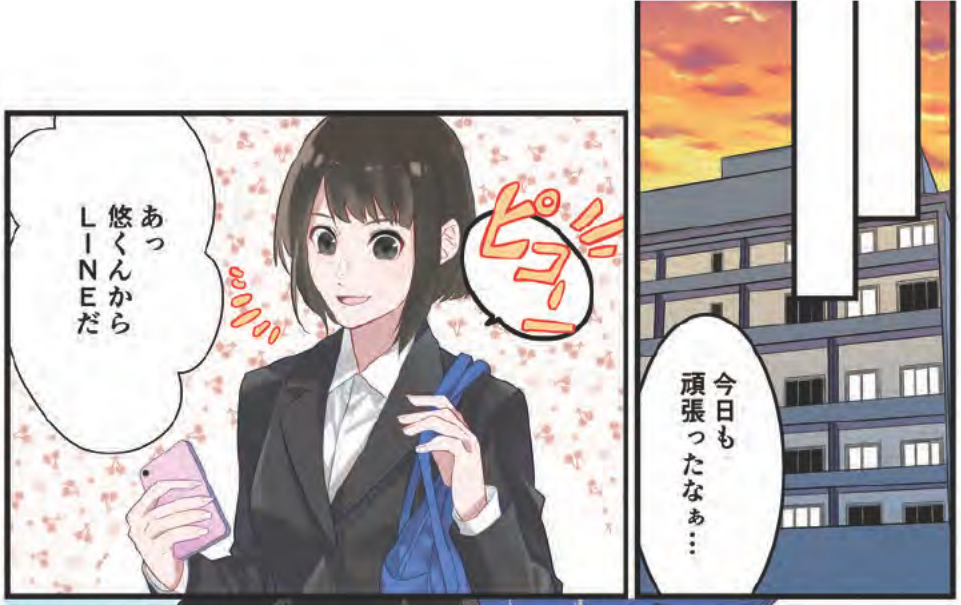
CONTENTS

ジモトで働こう！…… 4
ふるかわ朔
都会と地元の違い…… 16
地元で働くことも考えよう…… 19

私は岩手県
沿岸部育ち

都会での生活に
憧れていて
大学3年生の今は
東京の企業に
インターンシップ中

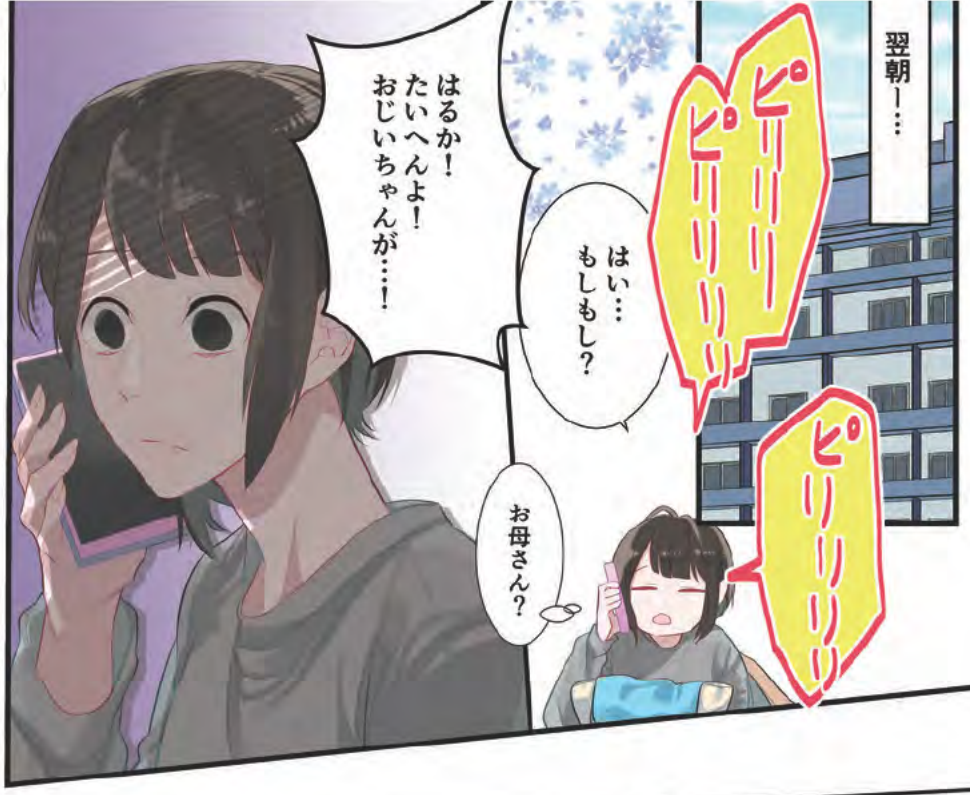
将来は首都圏で
就職したいと思っています



幼馴染の
高橋悠くん

彼の実家は
地元でも有名な
酒造会社

今は仙台の
大学に通っている

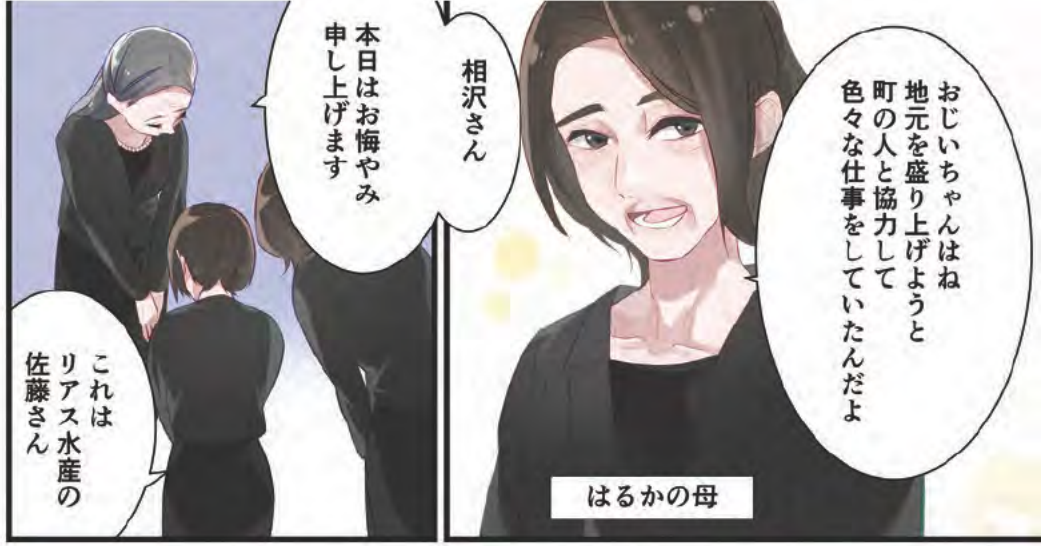

翌朝…
ピリリリ
ピリリリ
ピリリリ
はい…
もしもし？
お母さん？
はるか！
たいへんよ！
おじいちゃんが…！

はるか…

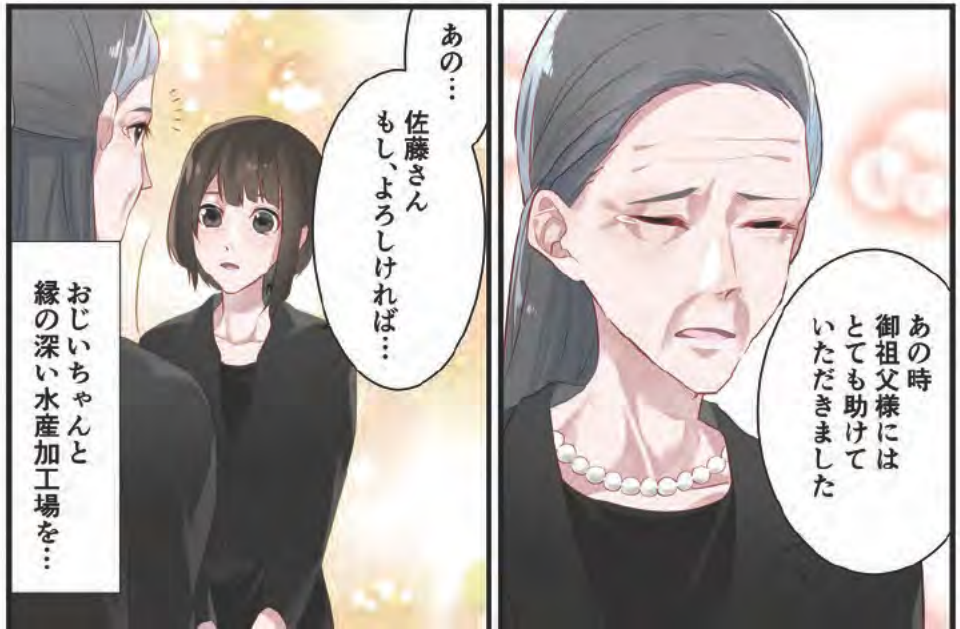
俺は仙台に
就職したいなあ
地元より
生活するのに便利だし
イベントも
たくさんやるから
イベント？
今度仙台で
食品に関する
国際会議が
開かれるんだよ
そこでアルバイトを
してくるんだ
悠くんは
海外が大好き
だもんね

すごいなあ
悠くん
私には遠い世界だ
今の私には
特に好きな事とか
ないしなあ

まあいいや！
明日は休みだし
渋谷で買い物でも
しようかなー！


おじいちゃんはね
地元を盛り上げようと
町の人と協力して
色々な仕事をしていたんだよ
はるかの母
相沢さん
本日はお悔やみ
申し上げます
これは
リアス水産の
佐藤さん

はるかちゃん
御祖父様には
とてもお世話になってね
東京で
うちの商品を
売り込むときにも
協力いただいて
百貨店で
置いてもらえる
ことになったんだよ


あの時
御祖父様には
とても助けて
いただきました
あの…
佐藤さん
もし、よろしければ…
おじいちゃんと
縁の深い水産加工場を…

この目で見てみたい！
工場を見学させて
もらえませんか？
株式会社
リアス水産

数日後
はるかちゃん
よく来たね！
本日は
よろしく
お願いします！

うちの会社は
震災で工場が
被災してね
4年前に復旧して以来
頑張ってきたんだよ

うちの
主力商品
サバの缶詰だよ！
これ！
おじいちゃんの
大好物！

昔、東京の物産展で
人手が足りなくて
御祖父様に
お手伝いしていただいたの
そこで、百貨店の
バイヤーさんと
意気投合して
商品を置いていただく
ことになったのよ

おじいちゃんが
大好きだった缶詰に
こんなにステキな
ストーリーがあったなんて…

みんな生き生きした顔で
働いている…

ただの憧れで
都会に暮らすよりも

私自身が
被災した地元の
発展に役立つなら

そんな暮らしも
いいかもしれない…

国際会議会場

一方、悠は―

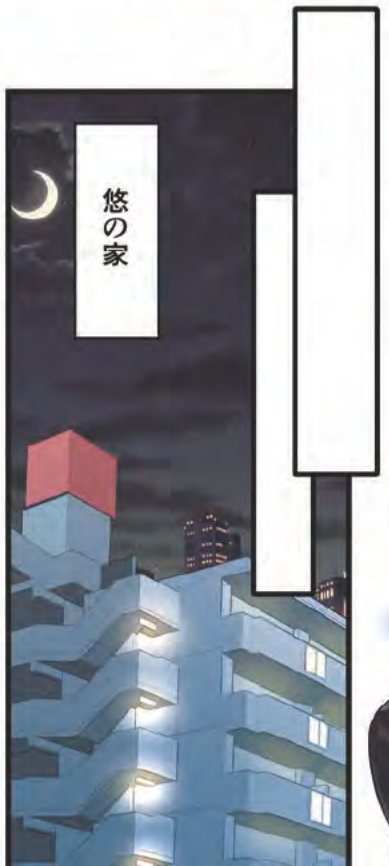
食品に関する
国際会議の会場で
アルバイト

日本酒を紹介する
ブースで働いていた

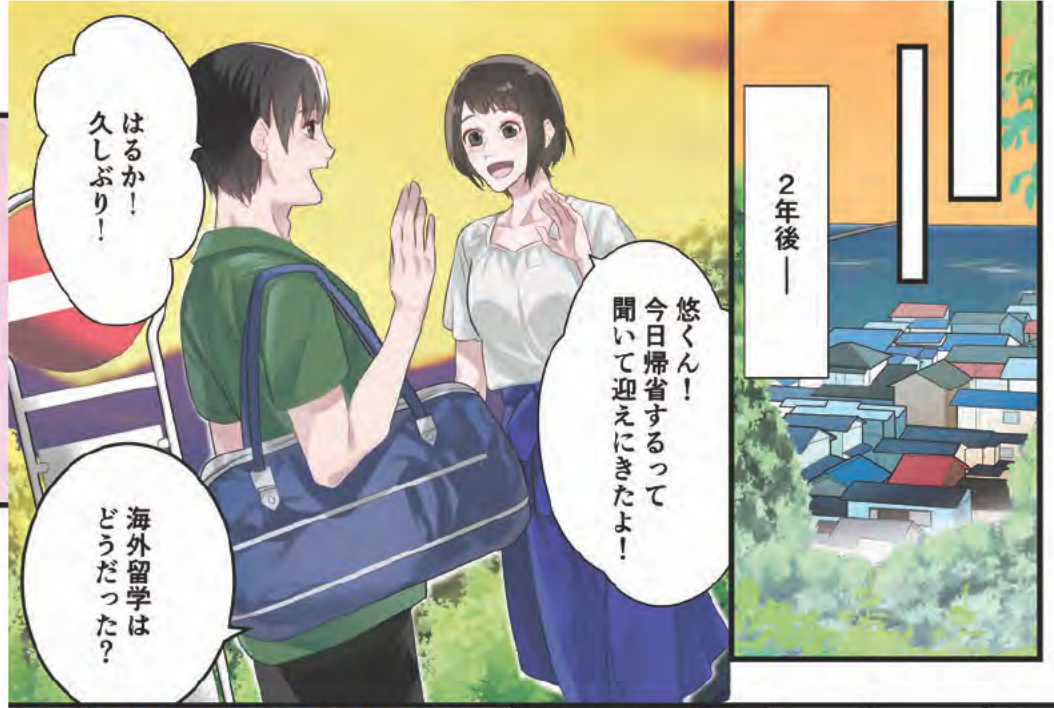
試飲
いかがですか？

日本酒は今
海外でも有名で
たくさんのファンがいます

へぇ～
そうなんですね



こうして悠は
翌年の秋から1年間
海外留学することにした


2年後―

悠くん！
今日帰省するって
聞いて迎えにきたよ！
はるか！
久しぶり！
海外留学は
どうだった？

語学も経営も
とても勉強に
なったよ
来年大学を卒業したら
実家に戻って
うちの日本酒を
海外でも販売したいんだ
そうしたら
地元も元気になるし
もっと人も雇える
ようになると思って
はるかは
リアス水産に
就職したんだって？
うん！

おじいちゃんみたいに
商品のPRで
東京に行くことが
あるから
都会生活は
滞在中に
体験できるし
何より地元のものが
たくさんの人に
喜ばれているのを
直接感じることができて
とってもうれしい！

家では家族と
美味しいご飯が待ってるし
友達にもすぐに会える
それはいいなあ！
充実してるみたいで
安心したよ
うん、色々悩んだけど
地元を選んで
本当に良かった！

都会と地方の違い

―働きがいの意識調査から―

慶應義塾大学大学院　政策・メディア研究科
特任教授　**横田 浩一**さん

東京と地方都市それぞれで働く人へのアンケート調査

働きやすさと働きがい 仕事満足度は変わらない

働きやすさ、働きがい、仕事への満足度について、「そう思う（5）」と「ややそう思う（4）」を足した値は、東京と地方（地域）でほぼ変わりませんでした。（図1、2、3）

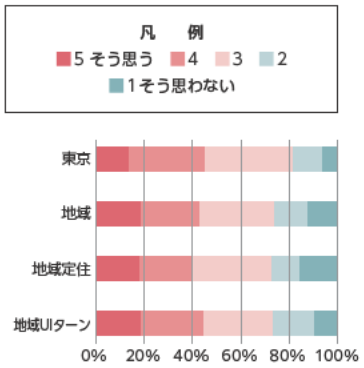


図１：いまの職場は働きやすい

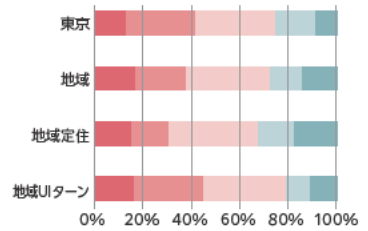


図２：私は働きがいを感じている

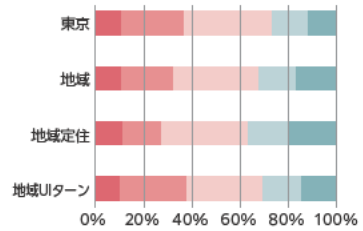
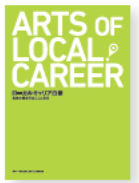


図３：いまの仕事に満足している

調査概要

CARRER FOR（事務局：一般社団法人 地域・人材共創機構）が「ローカルキャリア白書2019」の中で報告したアンケート調査。東京都と地方都市（岩手県釜石市、長野県塩尻市、岐阜県の一部、石川県七尾市、島根県雲南市）の18歳以上のビジネスパーソンから577サンプルを回収。

また、UIターン移住者のサンプルをより多く集めるため、125サンプルを回収した。



このことから、「東京か」「地方か」という場所だけで仕事を選択しなくても良い環境が整いつつあることが、調査結果からもうかがえます。

ここに住みたいという意思が働きがいに影響する

地方にUIターンした人は、東京や地方にずっといる人（地域定住）と比べて働きがいや仕事満足度が高いという結果になりました。（図2、3）

さらに、職場の選択を「やりたいこと」で決めてきた人や、仕事を通して成長や地域貢献を感じている人が多い結果となりました。（図4、5、6）

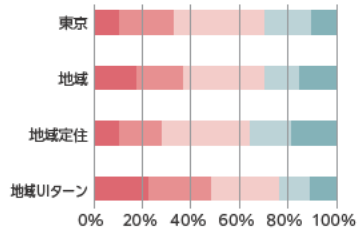


図４：私の職場の選択を「やりたいこと」で決めてきた

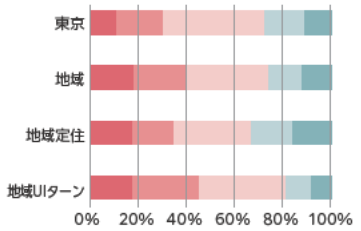


図５：私の仕事は地域（社会）に貢献している

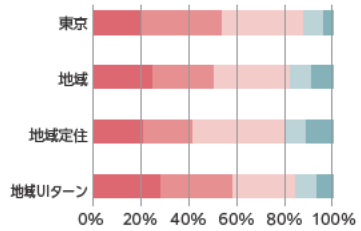


図６：仕事を通じて人間として成長できる

地方にUIターンした人は「地元に戻りたい」「この地域に住みたい」と移住や仕事を決め、高いモチベーションを維持しながら仕事に取り組んでいます。こうした強い意志と充実感が働きがいや仕事満足度に表れています。

地方の仕事は自分の影響力を実感できる

「私の仕事は周りに大きな影響を与える」と感じている人は、地方の方が高くなりました。（図7）

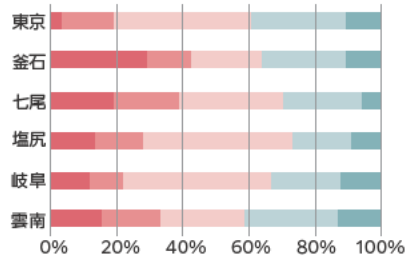


図７：私の仕事は周りに影響を与えている

仕事の規模や動くお金の額は、東京の方が大きいことが想像できますが、周囲への影響については、地方の方が実感できるという結果となりました。

地方では、地域のさまざまな人と関わりながら、プロジェクトを成し遂げることが多く、その時に「ありがとう」と感謝されたり、自分の成果が目に見えやすかったりすることが、影響の実感につながったと考えられます。

一方、東京の場合は、大きな組織の中でビジネスが動くため、個人の影響を実感しづらいのかもしれません。

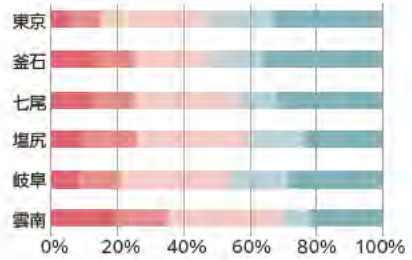


図８：定期的にあって話す地域コミュニティがある

人のつながりを強く感じる地方での働き方

地方では、身近な地域コミュニティを持っているという回答が東京より高くなりました。（図８）

市民や行政、ＮＰＯなど、多種多様な人が関わっている地方では、人と人とのつながりが強く、東京の場合は、ビジネスライクの付き合いもあり、どちらかといえば関係が薄いと考えられ、人のつながりという観点からは、地方と東京で違いが見られました。

被災地で強く感じる人への感謝と働きがい

「人生において感謝することがたくさんある」という項目について、釜石市では半数以上の人が「そう思う」と回答しています。（図９）

これは、震災復興に向けたつながりや、共助の経験が反映されたと考えられます。

また、釜石では、これまで復興支援に多くのボランティアが集まり、そのまま定住した人が多くいます。「復興のため」という明確な目的をもって移住し、地域の人と共に働いている被災地は、どの地域よりも働きがいを実感できる場所ではないでしょうか。

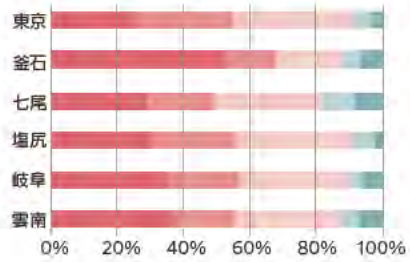


図９：私は人生において感謝することが多い

地元で働くことも考えよう

若い時は、物や情報にあふれ便利な都会生活にあこがれを抱くのは仕方のないこと。就職活動をする学生も、地元を出て就職したいと、首都圏の企業に関心を持ってしまいがちです。でも、地方にも魅力的な企業や、地元に貢献できる働きがいのある仕事がたくさんあります。また、地元では、自然豊かな住み慣れた場所で、家族や友達と共に安心して暮らすことができるはずです。

この冊子に登場したみなさんは、地元や移住先に魅力を感じながら充実した毎日を送っています。みなさんの地域でも、地元の魅力を知っている社会人がきっといるはず。

こうした人たちから直接話を聞いて、これまで気づかなかった「ジモトではたらく」魅力について考えてみましょう。

復興庁
Reconstruction Agency
新たなステージ　復興・創生へ

問い合わせ先
復興庁企業連携推進室
TEL. 03-6328-0267
kigyo-rs@cas.go.jp

令和３年２月発行